

# 富岡

TOMIOKA TESSAI

2024

3/13 水

→ 5/13 月

# 富岡鉄斎と布施卷太郎

憧れから懇友へ

元祐年中一老人簞笥賜海星  
言仁頭長三足身三足鳥喚花鶯  
布上春  
横山禎老詩 米手鉄斎画



富岡鉄斎没後 100 年企画展

# 鉄斎



老子騎牛図



寿老人図

FUSE MAKITARO

孫思邈医仙図

# 卷太郎

# 布施

高月観音の里歴史民俗資料館  
2階展示室

午前 9 時～午後 5 時 (ただし、入館は午後 4 時 30 分まで)

◎休館日 火曜日、祝日の翌日(3/21)

◎入館料 大人 300 円 / 小中学生 150 円

※ 20 名以上の団体は大人 250 円、小・中学生 130 円

長浜市・米原市の小・中学生は無料。

※ 身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳等  
をお持ちの方及びその付添いの方 1 名は無料。

(ただし、証明となる手帳等の提示が必要)

●主催：高月観音の里歴史民俗資料館

●協力：一般財団法人布施美術館

Commemorating the 100th Anniversary of the TESSAI TOMIOKA Death

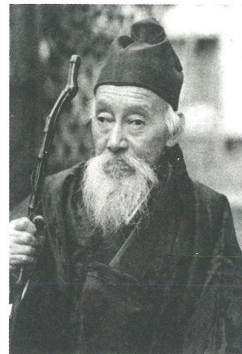


布施美術館名品展 14

富岡鉄斎と布施卷太郎

● 憧れから懇友へ

日本近代文人画の巨匠である富岡鉄斎(1836-1924)が亡くなって100年。ここ長浜市にも、晩年の鉄斎と親交を結び、多くの作品を譲り受けるほどの人物がいました。それが高月出身の医師、布施卷太郎(1881-1970)です。彼は当時の勤務地であった福井県敦賀市から鉄斎の住む京都に通いつめ、45歳の年齢差にもかかわらずその審美眼を認められるようになり、やがて鉄斎晩年の貴重な作品を譲り受けるに至りました。それら鉄斎の作品を含む膨大なコレクションは、のちに財団法人「布施美術館」として結実します。



富岡鉄斎(1836-1924)

この展覧会では、布施卷太郎が富岡鉄斎から直接譲られた作品を中心に展示し、巻太郎と鉄斎の交流を紹介します。

● 巻太郎と布施美術館

長浜市高月町唐川に建つ布施美術館(非公開)は、巻太郎が収集した富岡鉄斎をはじめとする文人画、經典や古文書、医学・薬学関係資料など数多くの貴重なコレクションを収蔵する美術館です。

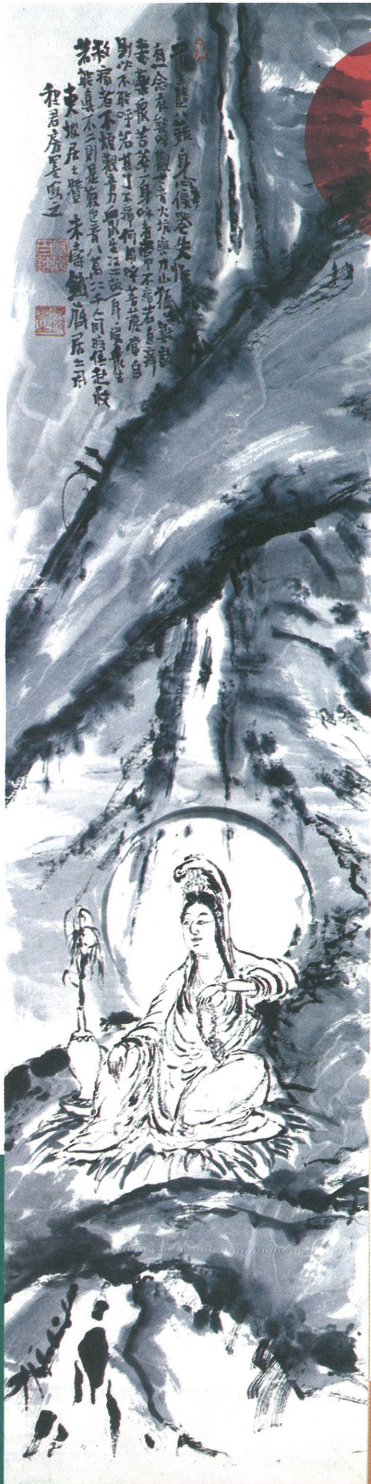
初代館長である巻太郎の「自ら収集したコレクションを、国民の文化遺産として永く後世に残したい、広く社会教育に活用したい」という美術館の創設理念を受け継ぎ、高月観音の里歴史民俗資料館では毎年「布施美術館名品展」として、そのすぐれた所蔵資料を特別公開しています。



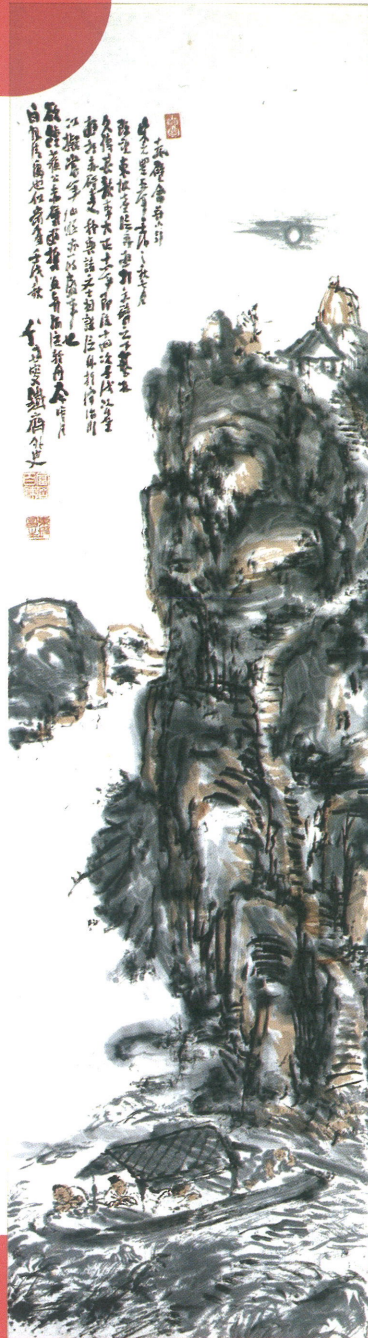
布施美術館(外観)



布施巻太郎(1881-1970)



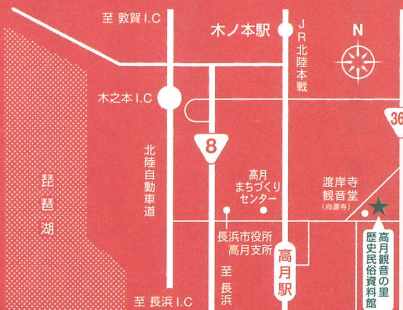
普陀落山観世普菩薩像



擬赤壁遊図



東坡石銚図



高月観音の里歴史民俗資料館

〒529-0233 滋賀県長浜市高月町渡岸寺 229 TEL 0749-85-2273

● 関連イベント

展示説明会

第1回 令和6年 3月23日(土)午後1時30分から

第2回 令和6年 4月20日(土)午後1時30分から

会場 高月観音の里歴史民俗資料館 2階展示室

※展示説明会には入館料が必要です(観音の里資料館友の会会員は入館無料)